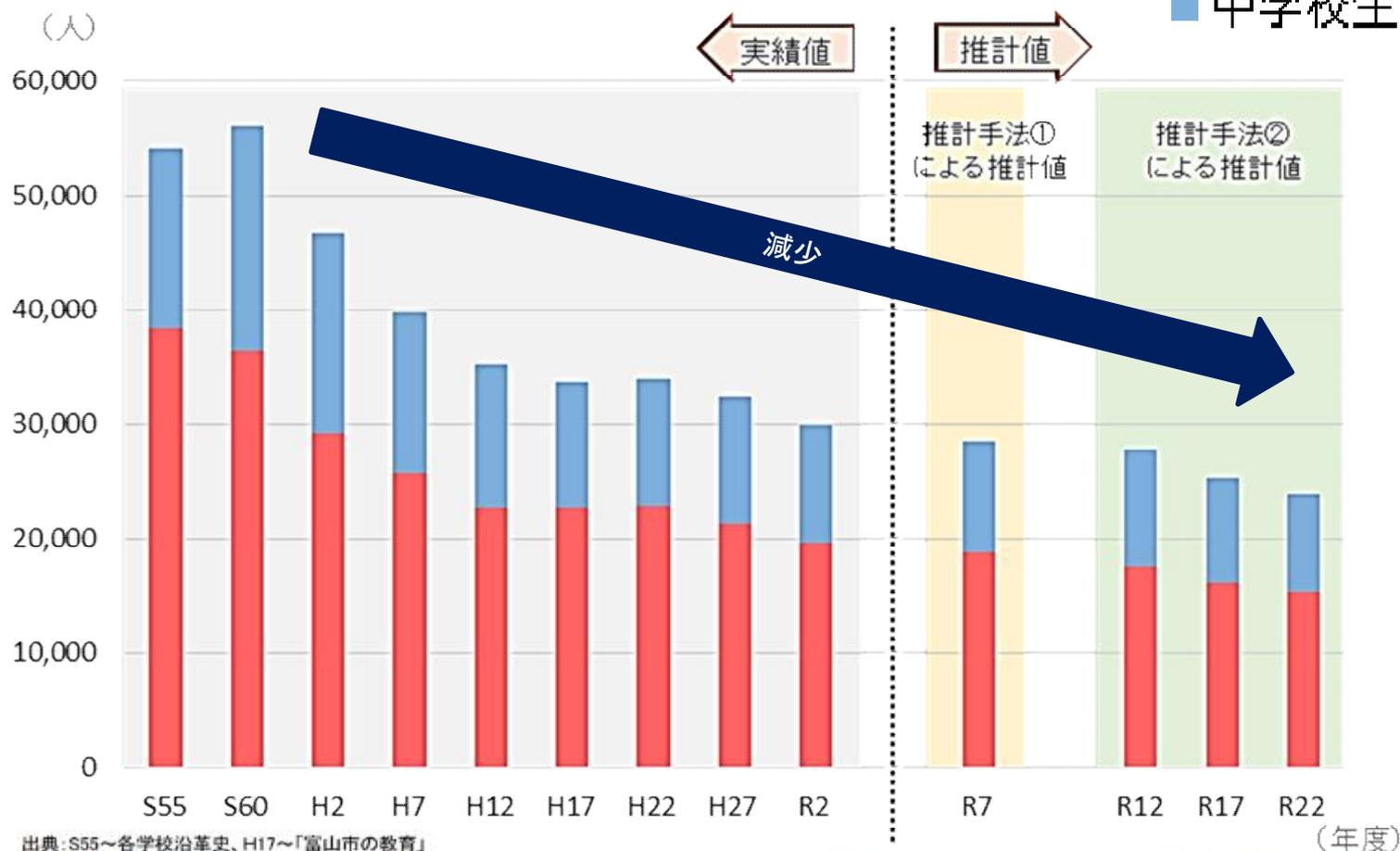


# 老田小学校の状況等について

# 富山市の児童生徒数の推移

■ 小学校児童数  
■ 中学校生徒数



出典: S55~各学校沿革史、H17~「富山市の教育」

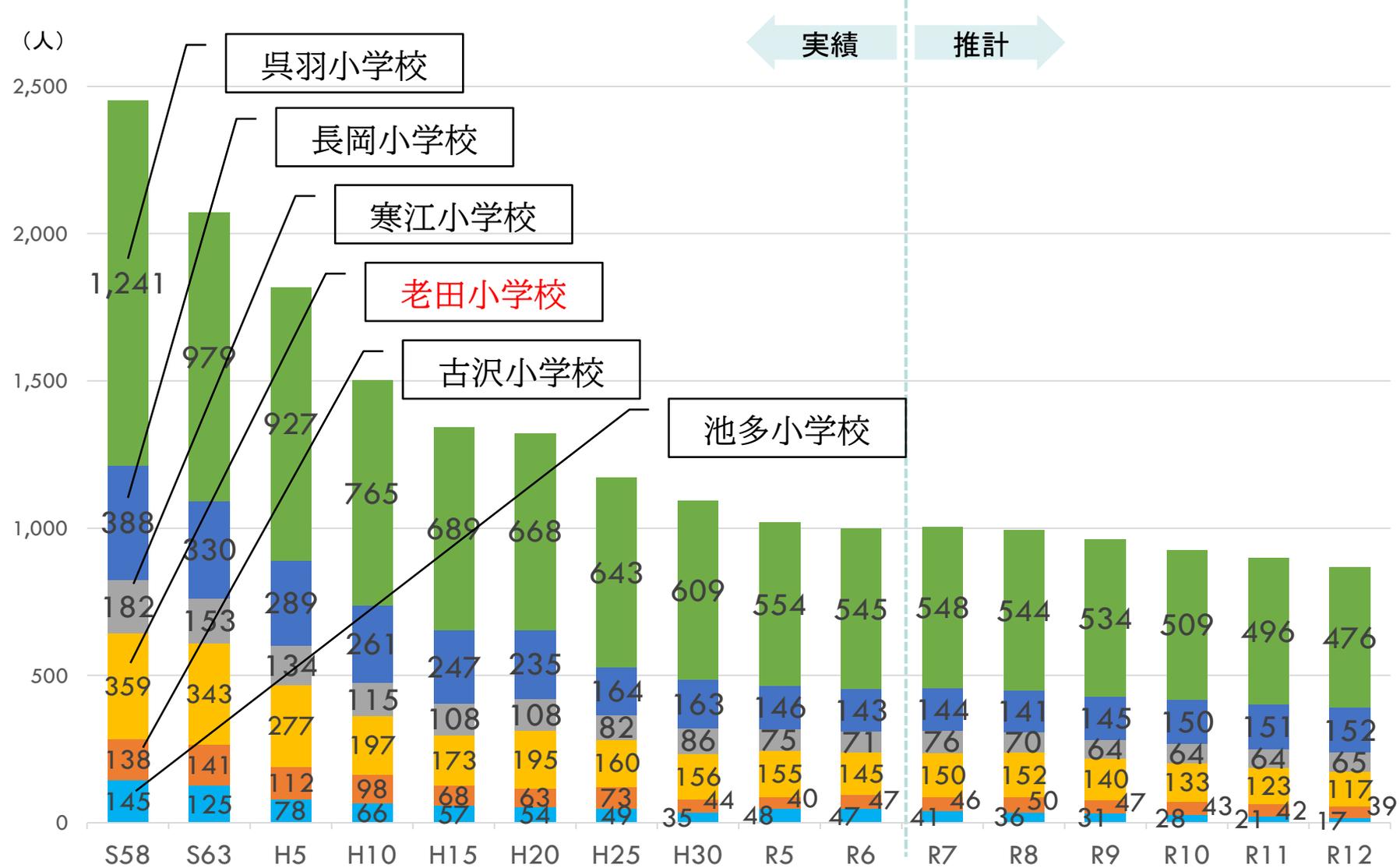
推計手法①: 令和2年度時点における1~9歳の各歳人口を、令和7年度時点における6~14歳の各歳人口とみなして(転出入や死亡による人口の増減を考慮しない)推計したもの。

推計手法②: 平成27年国勢調査の人口データを基に、コーホート要因法により学校区ごとに5歳階級別で人口推計を行ったうえで、6~14歳人口を抽出して児童生徒数の推計値を算出。

さらに、推計手法①と推計手法②の推計値の差分を以下の補正値により補正したもの。

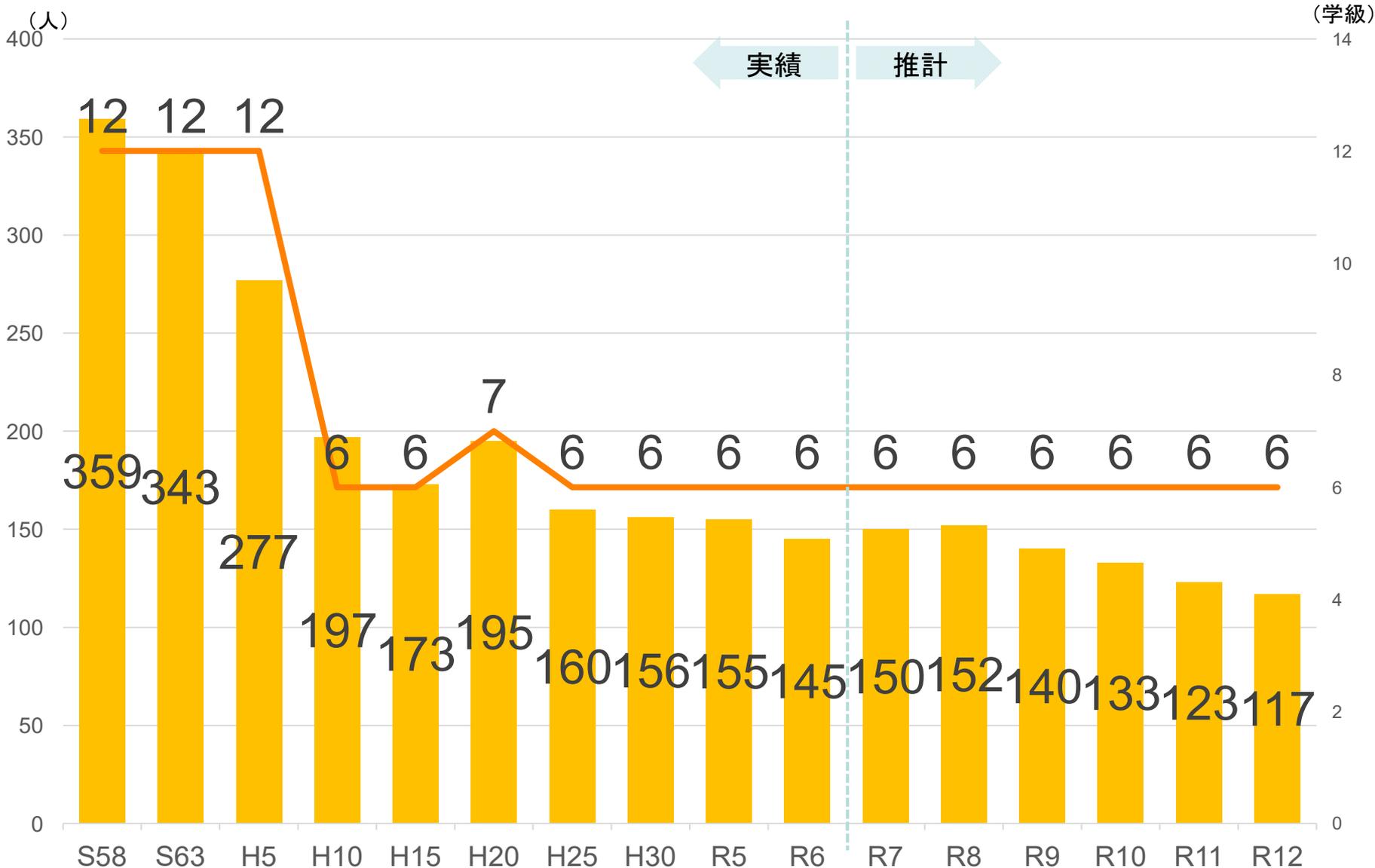
(補正値) = (推計手法①による令和7年度の推計値) / (推計手法②による令和7年度の推計値)

# ■ 呉羽・長岡・寒江・老田・古沢・池多小学校の児童数推移 (S58～)



令和7年度～：令和6年5月時点の住民基本台帳上における呉羽・長岡・寒江・老田・古沢・池多小学校区の未就学児人数による推計

# 老田小学校の児童数及び学級数推移 (S58～)



令和⑦年度～：令和6年5月時点の住民基本台帳上における老田小学校区の未就学児人数による推計

# ■ 学校再編案 (R4.2策定)

青字は再編対象校、赤字は複式学級のある学校(選定時点は令和3年度)

地域生活圏	No.	再編の組み合わせ	再編先学校(進学先中学校)	手法
富山中央	1	柳町小、中央小	→ 中央小(大泉中・南部中・東部中・奥田中)	統合
	2	柳町小(奥田小校区に通学区域変更)、奥田小 柳町小(東部小校区に通学区域変更)、東部小	→ 奥田小(奥田中) → 東部小(東部中)	中学校の進学先に分かれて統合
富山北部	4	岩瀬小、萩浦小	→ 萩浦小(岩瀬中)	統合
	5	針原小、浜黒崎小、大広田小	→ 大広田小(新庄中・北部中)	中学校の進学先に分かれて統合
	6	針原小(新庄北小校区に通学区域変更)、新庄北小 針原小(大広田小校区に通学区域変更)、浜黒崎小、大広田小	→ 新庄北小(新庄中) → 大広田小(北部中)	
和合	8	四方小、八幡小、葛島小、倉垣小	→ 和合中併設小(和合中)	統合
呉羽	9	古沢小、池多小、長岡小、寒江小、老田小、呉羽小	→ 呉羽小(呉羽中)	統合
富山西部	10	神明小、五福小	→ 五福小(西部中)	統合
富山東部	11	太田小、山室中部小	→ 山室中部小(山室中)	統合
大沢野	12	船峠小、大沢野小	→ 大沢野小(大沢野中)	統合
	13	船峠小、大久保小	→ 大久保小(大沢野中)	
大沢野・細入	14	神通碧小、大沢野小	→ 大沢野小(大沢野中)	統合
	15	船峠小、神通碧小、大沢野小	→ 大沢野小(大沢野中)	
	16	楡原中、大沢野中	→ 大沢野中	
大山	17	福沢小、小見小、上滝小、大庄小	→ 上滝中併設小(上滝中)	統合
	18	福沢小、小見小、上滝小、大庄小	→ 大庄小(上滝中)	統合
八尾	19	桎尾小、八尾小	→ 八尾小(八尾中)	一次統合
	20	桎尾小、杉原小	→ 杉原小(八尾中)	
	21	桎尾小、八尾小、杉原小、保内小	→ 八尾中併設小(八尾中)	最終統合
八尾・山田	22	桎尾小、山田小、八尾小	→ 八尾小(八尾中)	一次統合
	23	桎尾小、山田小、八尾小、杉原小、保内小	→ 八尾中併設小(八尾中)	最終統合
	24	山田中、八尾中	→ 八尾中	統合
婦中	25	朝日小、速星小	→ 速星小(速星中)	統合
	26	古里小、音川小、神保小	→ 城山中併設小(城山中)	
	27	古里小、音川小、神保小	→ 神保小(城山中)	

# 【呉羽地域統合ケース別】統合にかかる年数とメリット・デメリットについて

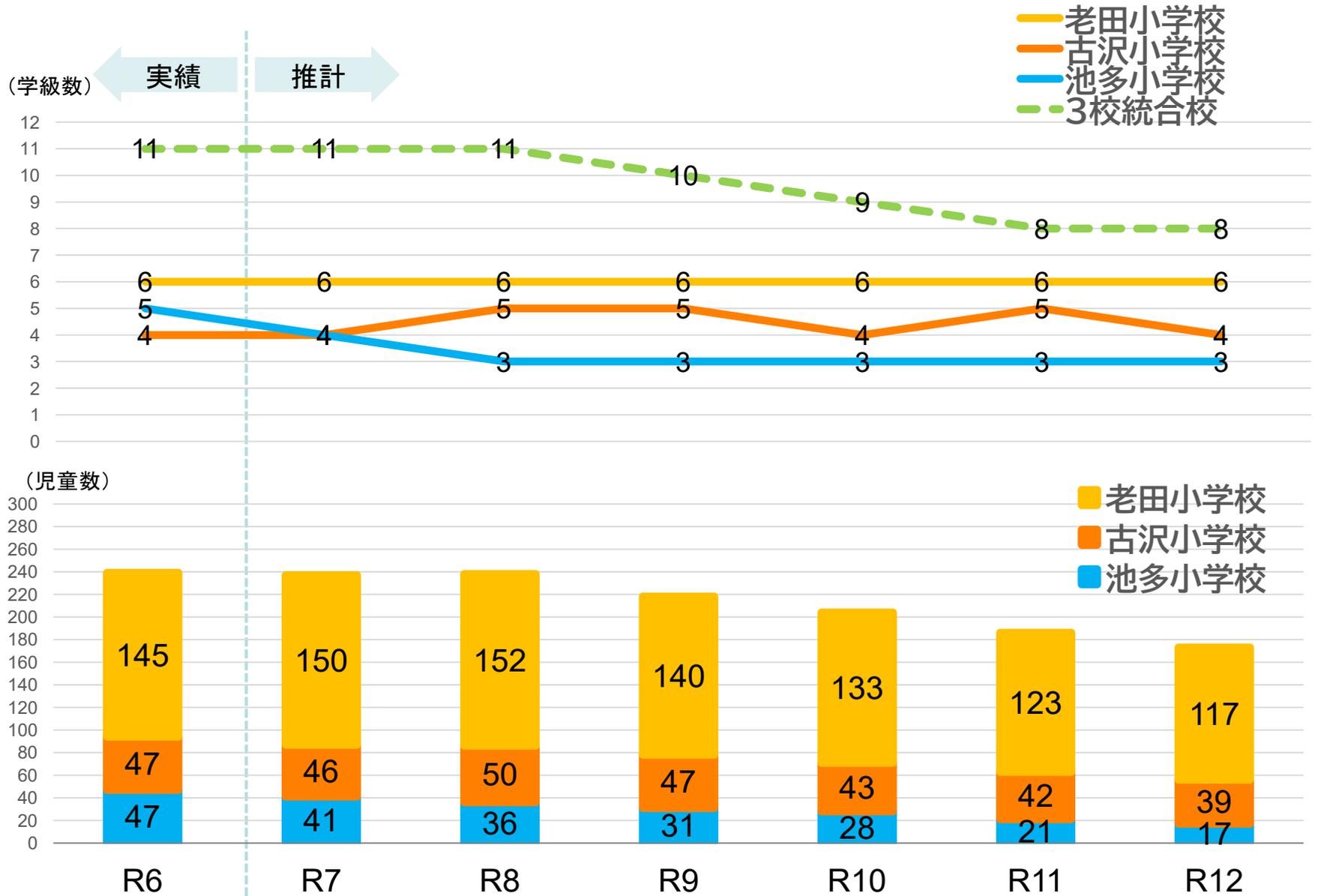
## ○ケース①「呉羽地区の小学校が一斉に呉羽小学校へ統合する場合」

統合にかかる年数	メリット	デメリット
最低でも 10年以上	<ul style="list-style-type: none"><li>・呉羽中学校区として一斉に統合することにより、統合を繰り返すことがない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・統合時期は、当分の間は統合しても大規模校となることから、適正規模での統合が可能となるまで年数がかかり、その間小規模校の状態が継続となってしまふ。</li></ul>

## ○ケース②「老田小学校、古沢小学校、池多小学校の3校で統合する場合」

統合にかかる年数	メリット	デメリット
最短で 3年程度	<ul style="list-style-type: none"><li>・比較的短い期間で統合が実現できると想定され、一時的には学年によって、2クラスの編制も可能となる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・統合しても適正規模とはならず、児童数の減少により、いずれは再度の統合が考えられる。</li></ul>

# 老田・古沢・池多小学校の学級数推移 (R6～)



令和7年度～：令和6年5月時点の住民基本台帳上における老田・古沢・池多小学校区の未就学児人数による推計

## 古沢小学校・池多小学校のあり方協議会の状況について

協議会	第1回協議会	第2回協議会	第3回協議会
古沢小学校の あり方協議会	<p>令和6年2月1日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の設立 (会則、役員、予算)</li> <li>・統合についての意見交換</li> </ul>	<p>令和6年6月12日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実施について</li> <li>・今後の活動について意見交換</li> </ul>	<p>令和6年8月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地区である浜黒崎小学校のあり方協議会委員による講演会 (古沢・池多で合同開催)</li> </ul>
池多小学校の あり方協議会	<p>令和6年4月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の設立 (会則、役員、予算)</li> <li>・統合についての意見交換</li> </ul>	<p>令和6年6月21日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局への質問等について回答</li> <li>・今後の活動について意見交換</li> </ul>	